

本会記事

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

昨年10月に新型コロナの「第8波」を迎え、感染者数も微増、微減を繰り返しておりますが、一度流れ出した人の動きはなかなか止めることは難しいなと感じています。皆さまも各々感染対策を講じながら日々行動し、多くの方は仕事や生活の状態を少しずつ戻されているのではないのでしょうか。

我々の仕事環境も非常に変化し、コロナ前は、会議等行う場合は、出張し、対面で行うことが当たり前でしたが、今や、オンラインで会議を行う機会が非常に増え、出張費や移動時間の節約を行うことができ、時間を効率よく使えるようになりました。コロナの流行のお陰と言ってはいいませんが、この環境の変化はコロナの流行がなければ実現されなかったと思います。しかしながら、時間が効率良く使える一方で、一日に複数の会議に出席しなくてはならないという状況を経験されている方も多数あるかと思いますが、これはポジティブに捉え、チャンスが増えたと考えていきましょう。

オンライン会議の便利さを感じる反面、2022年秋季大会は漸く対面開催が叶いました。2020年秋より4回の春秋大会をオンラインで開催しましたが、オンラインではやはり質疑応答が少ない印象があり、今回対面による開催では質疑応答も活発で、参加者同士の交流もあり、対面開催は良いなと実感しました。今年の春季大会は6月6日～8日に東京の早稲田大学国際会議場で開催します。8つの講演特集を企画しており、特集内容は、本誌講演募集に記載していますので、多くのご発表をお待ちしています。また、延期となっていたJSPMIC2022は、今年10月16日～18日にJSPMIC2023として京都、同志社大学寒梅館で開催します。JSPMIC2023に引き続き2023年度秋季大会も同会場で19日～20日に開催する予定です。現在、Webサイトを開設し、こちらも講演募集を行っております。海外への渡航、帰国の手続きも少しずつ緩和され、事務局のある京都でも多くの海外からの観光客の姿を見られるようになりました。1月初めには中国への入国規制も撤廃されるとのことで、海外から多くの発表者に来て頂けると期待しています。まだまだ海外での国際会議発表のチャンスが作れない方もあるかと思いますが、国内で開催されるJSPMIC2023の国際会議で発表頂き、2024年開催のWORLD PM2024での発表の礎にして頂きたいと思います。学生や若手エンジニアの方にとって、約3年のブランクは非常に大きいと思いますが、温めていた研究を発表するチャンスの場としてこの国際会議をご活用ください。

当協会のもう一つの大きな行事に粉末冶金講座があります。昨年7月に入門のⅠとⅡの講座を開催し、12月に基礎、実用を開催しました。入門Ⅱで新たに4講座を増やし「粉末冶金を取り扱う際に知っておきたい材料学の基礎知識」について講義を頂きました。昨年は粉末冶金講座の全講座を対面のみで開催しました。対面参加された方からは、講義に集中できる、直接講師の方に質問ができるなどの意見を頂いた一方で、前述の春秋大会とは違い、講座の参加はオンラインの会議ツールによる参加を希望する意見もあり、2023年度開催の粉末冶金講座の形態については、検討していきたいと思います。詳細決まり次第ご案内させていただきますので、是非ご参加ください。

最後に協会誌「粉体および粉末冶金」についてご案内します。皆さんには既にご案内をしておりますが、J-STAGEに登載のオンラインジャーナルは、10月よりCC BY-NC-ND 4.0（表示-非営利-改変禁止）のCCライセンスを付与し、オープンアクセス（OA）ジャーナルとなりました。以前は6ヶ月のエンバゴ期間を設けておりましたが、10月からは発行と同時に論文が公開され、どなたでも全文PDFを見ることができるようになっております。また、付与されたCCライセンス（表示-非営利-改変禁止）に基づき二次利用についても当会の許可を得ることなく利用頂けますので、多くの論文を引用頂ければと思います。最近では公的な研究資金による研究成果は、誰でも無料で見ることができるようになるという観点から、公的な研究助成を行う機関の多くが、助成した研究成果について、OAを義務化・推奨しています。多くの論文をOA誌「粉体および粉末冶金」に投稿頂き、活用頂ければと思います。

2023年はうさぎ年です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「安全」の象徴とも言われます。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれています。コロナが収束する「安全」な一年となりますよう、また、協会行事としても国際会議の開催や新たな取り組みを行い、「飛躍」の一年としたいと思います。

皆様の今年一年も「安全」、「飛躍」、「向上」の年となりますよう祈念致します。
(井上羊子)

